

# まごころだより

2021年 6月号

## “フェンちゃんの新しい家族”

今、休職中のベトナムから来られたフェンちゃんが、赤ちゃんを連れて遊びに来てくれました。クリクリの目をしたとても可愛らしい女の子です。名前を「安然」（アンネン）と命名したそうです。母親になったフェンちゃんは以前にも増して優しい表情になったように感じました。日本には一昨年に来られましたが、当初は日本語を全く話す事ができず、とても不安な毎日だったと思います。夫は日本語が堪能で、そんなフェンちゃんに細かく訳して伝える優しい人です。彼女は早く復職したいと願っていますが、今はコロナの状況でもあり、もう少し先になりそうです。遠く離れた日本で若い夫婦は、新しい家族を迎えて懸命に生活していこうとしています。私達はこの夫婦をできる限り応援していこうと思っています。



## “ヨモギ餅”

春の野草で餅を作って食べようとヨモギ餅を作りました。昔から親しまれたヨモギ餅、今ではいつでもお菓子屋さんに並んでいるようですが、手作りのお菓子は特別です。他にも桜餅や柿の葉を使って作りましたが、その時の利用者の表情はとても楽しそうで良い顔をしています。本来は自ら野草を摘みに行きたいと思われたと思いますが、来春はきっと出来ると信じています。

## “草むしり”

あまり外出ができず、屋内に閉じこもってばかりも申し訳ないので、家庭菜園の準備があったのを口実に庭の草むしりを手伝って頂きました。「ここに苗を植えて実がなるよう準備して育てましょう」などとお喋りしながらだとそれなりに楽しいみたいで、そろそろ終わりにしようと声をかけても中々作業が終わりません。本当に楽しいのだとおもいます。



## “そら豆の収穫”

つい数週間前に植えたそら豆が順調に育って収穫を迎えました。苗を植えたことは忘れておられましたが収穫は楽しそうです。これは何という豆かと尋ねながら、どうやって食べるのかとかワイワイ。家の中からもここにもある、ここにもあると盛り上がりました。外での活動は開放感があり笑顔にも満足そうなのが伺えます。自由に活動できるようにと心から願うばかりです。